

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成14年2月期)

## 水質概要

2月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層4.9、中層4.9、下層4.9)並の値を示した。図1に示すように、2月の水温は3.4~6.6で変動しており、2月上旬から水温が高くなる変動を示していた。水深による顕著な差異は見られなかった。

2月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層4.8psu、中層5.4psu、下層6.3psu)並の値を示した。気圧の低下が見られる5日、7日~9日は、中層以深で高塩分水塊の流入が見られた。

2月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおりほぼ9.1~11.7mg/lの変動であった。(平均値:上層11.2mg/l、中層:11.0mg/l、下層:9.3mg/l)

表1 2月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		( )	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	5.5	2.8	12.2
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	5.5	4.8	10.9
中旬	上層	5.3	3.3	11.7
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	5.3	5.4	10.5
下旬	上層	7.1	3.4	11.8
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	7	6.3	10.5
月間平均 (2月)	上層	5.9	3.1	11.9
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	5.9	5.5	10

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

## 水質

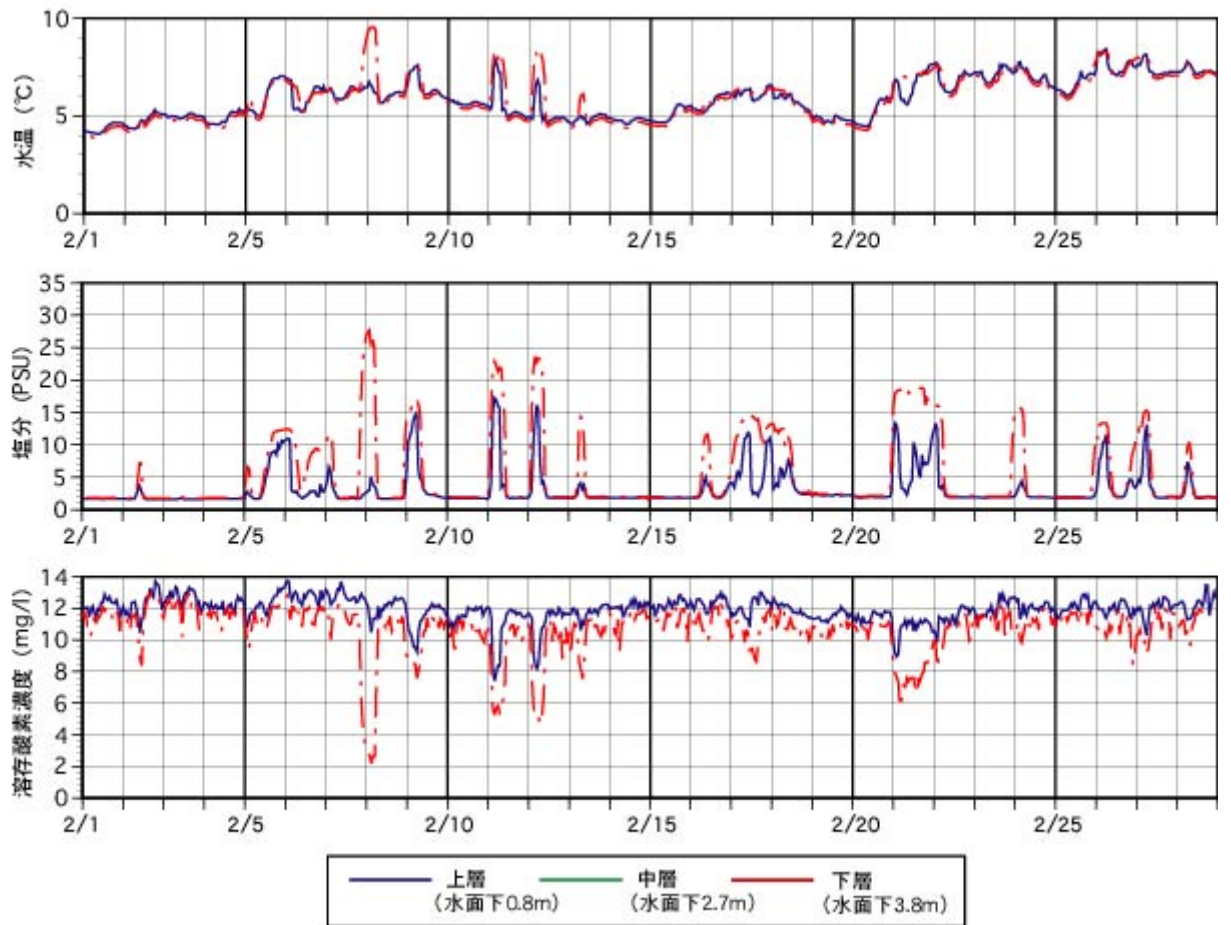


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

## 気象概況

図2に示すように、2月の気圧変動は、全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1013.8hPaは、平年値（平年値1012.2hPa）と比較して高かった。

表2に示すとおり、2月の日射量は、0.0433MJ/m<sup>2</sup>であり、1月と比較して高い値を示していた（1月平均値：0.0299MJ/m<sup>2</sup>）。

2月の風向・風速は、平均風速2.4m/sec（平年値3.8m/sec,西風）であり、平年並の値と比較して低かった。

表 2 2 月期の気象概要

	気温 ( )	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m2)
上旬	4.9	1013.7	3	南南西	0.0463
中旬	3.9	1015.1	3.7	南西	0.0435
下旬	7.3	1015.9	2.1	南南西	0.0478
月間平均 (2月)	5.2	1014.8	3	南南西	0.0457

( 平年値は、平成 13 年気象の暦 ( 山陰版 ) ( 財 ) 日本気象協会中国センターより引用 )

( 表中の数字は、平均値を示す )

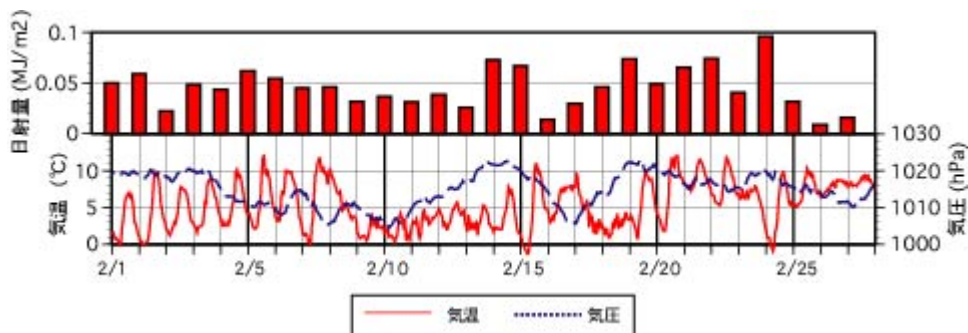


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

### 流況

2 月の平均東方流速は、上層 16.6cm/sec、中層 21.3cm/sec、下層 20.5cm/sec であった。西方流速が卓越する 16 日、22 日付近は、高塩分水塊が流入しており、東方が卓越する 6 日、21 日付近は、高塩分水塊の流入は確認されなかった。

2 月の東方流速は、潮汐による往復流が見られた。

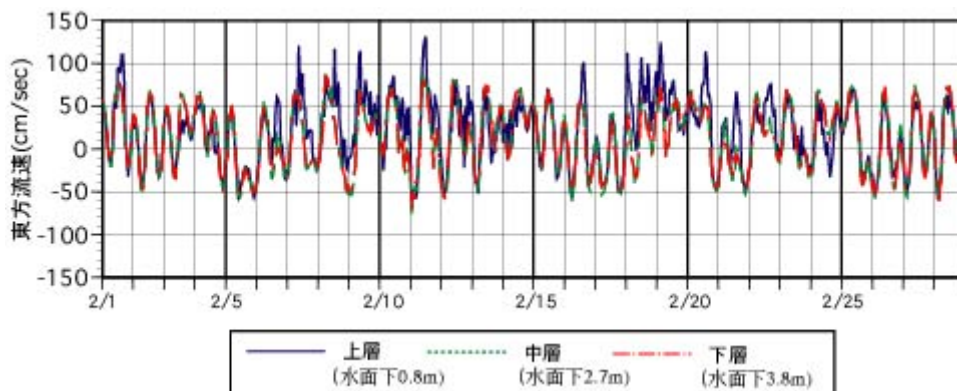


図 3 東方流速の時系列変化

-----